

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2000-313798 (P2000-313798A)

【公開日】平成 12 年 11 月 14 日 (2000.11.14)

【出願番号】特願 平 11-120799

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

F 1 6 F 15/02 (2006.01)

F 1 6 F 15/08 (2006.01)

G 1 1 B 33/02 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 K 3/00

F 1 6 F 15/02 Q

F 1 6 F 15/08 D

G 1 1 B 33/02 3 0 5 Z

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

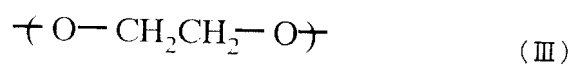
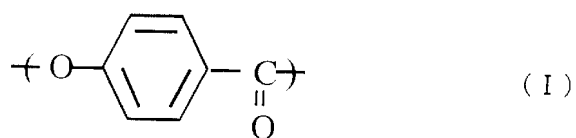
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】ポリカーボネート系樹脂 (A) 100 重量部に対して液晶性樹脂 (B) 0.5 ~ 100 重量部を含有し、かつ該液晶性樹脂粒子の数平均分散径が 0.5 ~ 5 μ mであることを特徴とする光学系駆動装置用熱可塑性樹脂組成物。

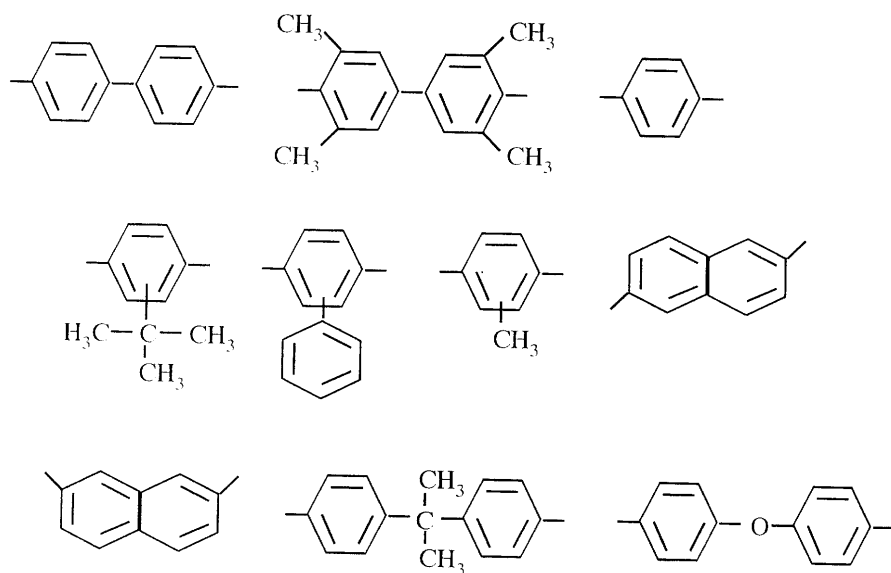
【請求項 2】液晶性樹脂 (B) が下記構造単位 (I)、(II)、(III) および (IV) からなる液晶性ポリエステルであることを特徴とする請求項 1 記載の光学系駆動装置用熱可塑性樹脂組成物。

【化 1】



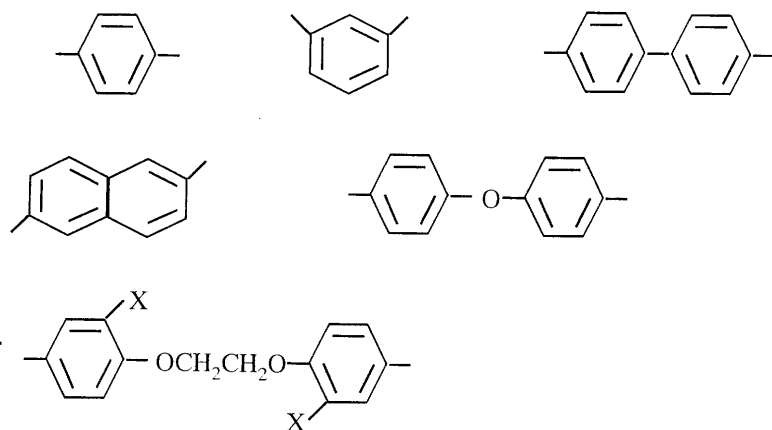
(ただし式中の R_1 は

【化2】



から選ばれた1種以上の基を示し、 R_2 は

【化3】



から選ばれた 1 種以上の基を示す。ただし式中 X は水素原子、または塩素原子を示す。)

【請求項 3】分散する液晶性樹脂粒子の数平均アスペクト比（長径 / 短径）が 3 未満であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の光学系駆動装置用熱可塑性樹脂組成物。

【請求項 4】（A）成分および（B）成分の合計 100 重量部に対し、充填材 0.5 ~ 300 重量部をさらに含有してなる請求項 1 ~ 3 いずれか記載の光学系駆動装置用強化熱可塑性樹脂組成物。

【請求項 5】ASTMD 256 に従って測定した光学系駆動装置用熱可塑性樹脂組成物の 1 / 4 インチ（ノッチ付き）バーアイゾット衝撃強度が、（B）成分を含まない以外は同じ組成物を用いて同様に測定した値よりも 50 % 以上向上することを特徴とする請求項 1 ~ 4 いずれか記載の光学系駆動装置用強化熱可塑性樹脂組成物。

【請求項 6】請求項 1 ~ 5 いずれか記載の光学系駆動装置用熱可塑性樹脂組成物からなる光学系駆動装置用部品。